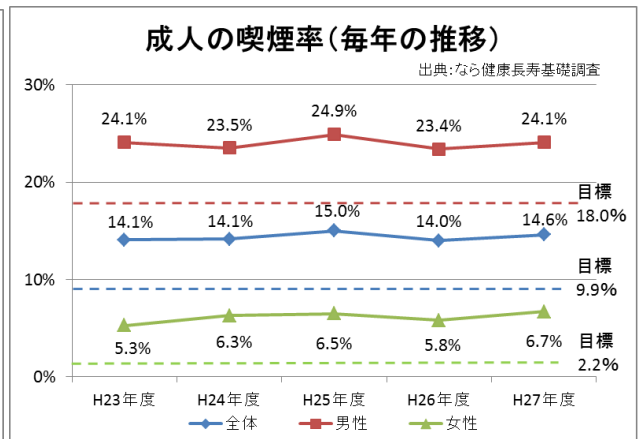
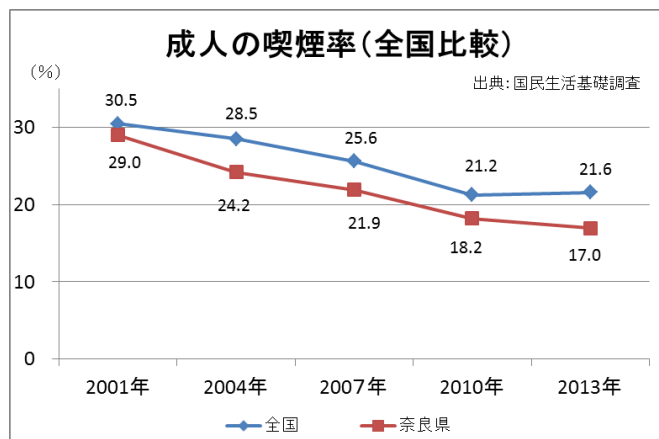
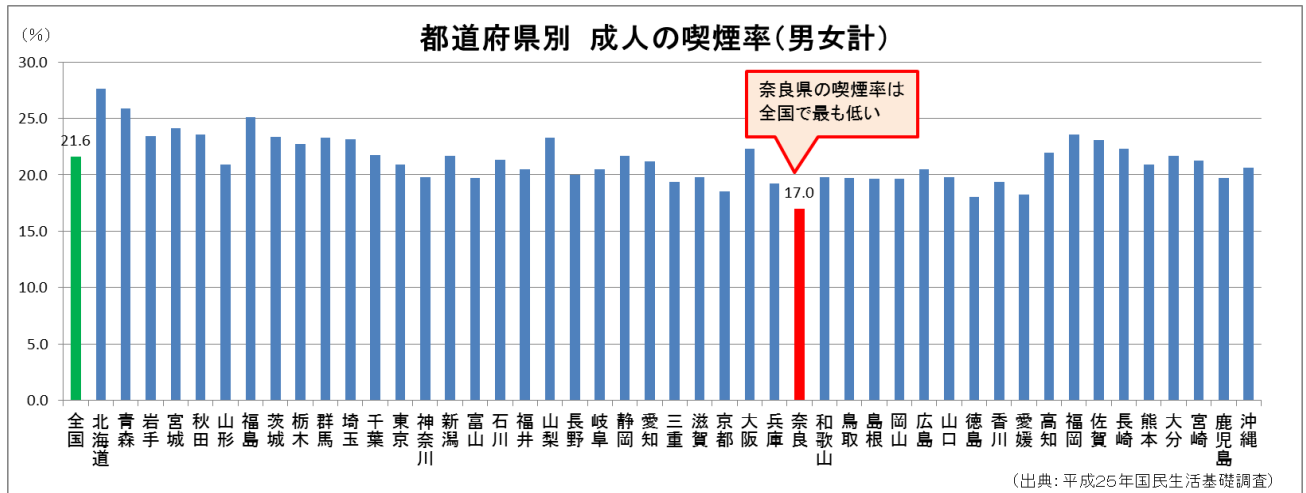


奈良県を**健康寿命を日本一**にすることを旨し、「なら健康長寿基本計画」を策定している。

重点健康指標として、**成人の喫煙率の減少** 14.6(H27)⇒9.9%(H34)を設定している。



### 【現状】

奈良県は全国で最も低い喫煙率であるが、ここ数年の喫煙率に大きな減少はみられていない。一方で、喫煙者の約4割が禁煙を希望している。(H27なら健康長寿基礎調査)

### 【問題点】

禁煙希望者が確実に禁煙できていない。

### 【課題】

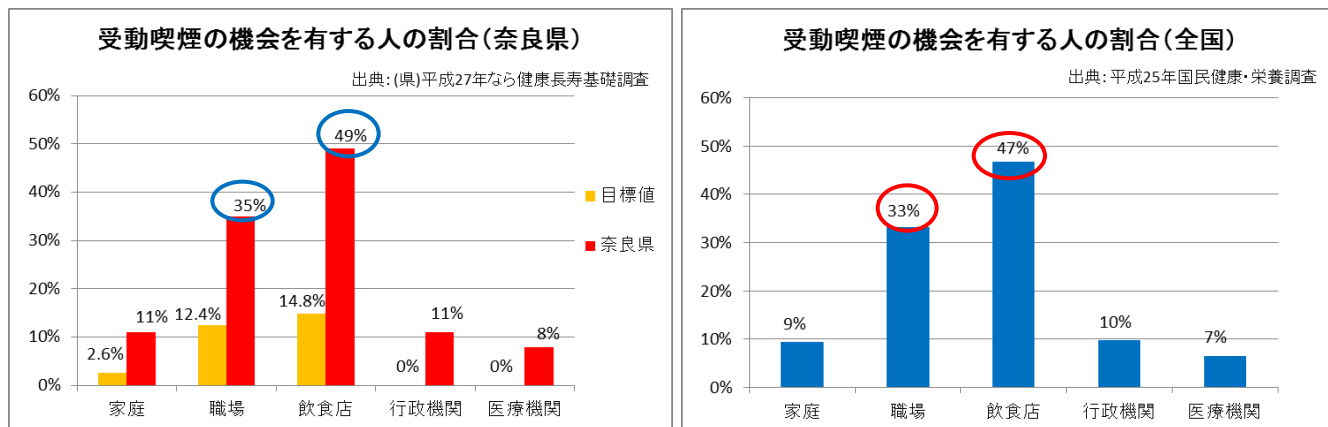
- ・禁煙希望者が確実に禁煙できるような支援体制を充実させる必要がある。
- ・広く県民に対し、禁煙に関する知識の普及啓発を強化する必要がある。

禁煙希望者が確実に禁煙できるように、禁煙支援相談窓口の拡充、市町村の取組に対する支援。

# 案 奈良県のたばこ対策（受動喫煙防止対策）

喫煙は、吸っている本人だけではなく、受動喫煙（他人のたばこの煙にさらされること）が健康に悪影響（肺がん、虚血性心疾患等）を与えることが科学的に明らかにされている。

「なら健康長寿基本計画」の健康指標として日常生活で受動喫煙の機会を有する人の割合の減少を設定している。



※「受動喫煙の機会を有する者」とは過去1ヵ月間に、家庭は「毎日機会あり」、それ以外は「月1回以上機会あり」の者。「行かなかった」を除く。

## 【現状】

受動喫煙の機会を有する人の割合は、飲食店（49%）、職場（35%）、行政機関（11%）、医療機関（8%）、家庭（11%）となっている。

## 【問題点】

受動喫煙の機会を有する人の割合が目標値に達していない。  
受動喫煙の機会を有する場所は、特に飲食店、職場が多い。

## 【課題】

誰もが意図しない受動喫煙を防止する環境整備が必要である。

国が検討する受動喫煙防止の法制化を視野に入れ、奈良県としての受動喫煙防止のあり方を検討。